

## 学校関係者評価

受審月日 令和3年6月3日(木)

評価者 三田 孝行(松阪中央総合病院院長) 濱口 早弓(松阪中央総合病院看護部長)  
 櫻井 正樹(松阪市民病院院長) 横山 孝子(松阪市民病院看護部長)  
 清水 敦哉(済生会松阪総合病院院長) 鶴森 立美(済生会松阪総合病院看護部長)  
 松島 聡(済生会明和病院院長) 柳瀬 眞弓(済生会明和病院看護部長)  
 土山 美由紀(独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター附属三重中央看護学校副学校長)  
 大森 隼一郎(同窓会会長)  
 西園 里美(在校生保護者)  
 美馬 ちづる(松阪市健康福祉部障がい福祉課障がい福祉係主任)

## 令和2年度 松阪看護専門学校 学校関係者評価

評価項目	評価内容
I. 教育理念・教育目的・教育目標	教育理念・目的・目標の掲示や学生や講師へのシラバスの明示に加え、教育理念を学校のエントランスに掲げるなどの工夫がされている。カリキュラム改正への準備もされ、見直しもなされている。学校の特徴を生かせるように期待する。今後も社会の変化やニーズに対応できるよう見直していただきたい。
II. 教育課程	コロナ禍でも感染予防をしっかりと配慮し、状況に応じた実習やICTを活用した授業などを速やかに取り入れたカリキュラムが検討されていた。今後も突発的な問題にも対応できるよう、実習施設との連携を図りながら更に学生への学びの環境を整えていただきたい。新カリキュラムには地域に対するニーズや特徴を取り入れられる予定であり、地域に根差した学校として評価できる。また、新たに多職種の学生との共同授業の取り組みもされるなど、よりよい学びに向けて取り組まれていることは、他校に無い取り組みである。学生のコミュニケーション能力や社会人基礎力の低下が課題であるため、強化を図る科目の新設も必要と思われる。
III. 教授・学習・評価過程	コロナ禍でも、状況に応じてリモート授業、課題学習、学内演習などに切り替えて工夫しながら対面授業や演習を実行できたことは評価できる。教員や外部講師についても、講義の改善に繋がる取り組みを行っており評価できる。また、卒業後の看護実践力の評価や授業評価を、教育内容や方法の改善に活かすことが定着されている。卒業生の評価を半年後だけでなくもう少し先まで見据えていくと良いと思われる。
IV. 経営・管理過程	定期的に運営会議がなされ、経営や運営について学校職員に周知されている。財政基盤も安定されていて、設備投資も計画的になされ改善されている。また、補助金の活用などもされ、学生の学ぶ環境への投資がなされている。更に、入学生の確保ができており、国家試験合格率も100%であること、松阪地区への就職率も90%を超えており、効率よく人材を地域に輩出できている。昨年は医師会としての看護学校将来構想についての初めての会議が行われており、今後も松阪地域の看護師の需要をもとに長期的な計画を進めて頂きたい。
V. 入学	少子化や大学志向のなかで、定員を確保できた点は評価できる。卒業率や国家試験合格率を表示してはどうか。ホームページに教育内容や講師陣の魅力について紹介するなど、今後も様々なツールを使用しながら工夫し、継続して学生の確保につなげてほしい。

<p>VI. 卒業・就業 ・進学</p>	<p>卒業時の到達状況の把握・分析は実施できており、個々の学生の卒業後の実践状況も就職先に評価いただいている。卒業後の状況調査については半年後に実施しているが、1年後に評価するなどもう少し先の評価を加えたらどうか。次期カリキュラムでは、社会人としての基本的な姿勢や仕事への取組みの基礎となる社会人基礎力が身に付けられるような科目も期待したい。聞く力、伝える力を強化されたい。</p>
<p>VII. 地域社会・国際 交流</p>	<p>地域行政や保健・医療・福祉関係機関との交流をされており、学校が地域で活躍する看護職の育成に取り組まれていることが伝わる。学生の地域活動も積極的に行われ、その場での倫理観の醸成も期待できる。今後もコロナの感染状況を踏まえて地域支援活動を進めて頂きたい。</p>
<p>VIII. 研究</p>	<p>研修には積極的に参加されており、大学や他との共同研究などの取組みの発展を期待する。コロナ禍においても ZOOM を活用し他施設との共同研究も検討していただきたい。就業してからの看護研究に対する意識向上を図るためにも、教育者が研究に取り組んでいる姿勢を学生に見せていただきたい。</p>
<p>総評</p>	<p>年々改善への取り組みがなされ進歩している。地域での看護学校の役割を意識されて適切な運営がなされている。地域が期待する卒業像に向けて、次期カリキュラムではコミュニケーション能力や社会人基礎力の強化などに向けたカリキュラムの構築を期待する。今後も継続して、盤石な学校運営や教育の質の向上に努められ、地域が期待する卒業生の育成に取り組まれることを望む。</p>